

平成 28 年度 加賀市当初予算概要

1 全会計の予算総額 643億1,650万円 (前年比 ▲48億1,400万円 ▲7.0%)

平成 28 年度に加賀市当初予算は、統合新病院建設事業（病院事業会計）の完了に伴い事業費が皆減（▲70 億 3,200 万円）したが、一般会計において、「ほっと石川観光プラン推進ファンド貸付金」（+4 億 5,500 万円）や「山中温泉ぬくもり診療所整備費」（+3 億 4,050 万円）の皆増などにより地方財政計画の伸び率を上回る増加となり、全会計の予算総額は、前年比で 7.0% の減少にとどまっている。

2 一般会計予算 310億2,600万円 (前年比 +8億2,600万円 +2.7%) <地方財政計画の伸び率 0.6%>

※参考 借換債を除く場合 303億819万円 (前年比 +5億4,778万円 +1.8%)

	(予算額)	(前年比)	(主な増減理由)
主な歳入			
① 市 税	89 億 9,960 万円	(+ 1.1%)	家屋の新築による固定資産税の増加、観光客の増加による入湯税等の増加
② 地方消費税交付金	13 億 3,000 万円	(+12.3%)	平成 27 年度実績見込み及び地方財政計画における見込みによる増加
③ 地方交付税	72 億 1,000 万円	(▲ 0.5%)	合併特例措置の終了等による普通交付税の減少（臨時財政対策債を含む実質交付税が減少）
④ 国庫支出金	47 億 5,863 万円	(+ 4.4%)	防災緊急情報伝達システム整備事業費補助金、耐震改修促進事業費補助金の増加
⑤ 県支出金	19 億 8,170 万円	(+ 1.4%)	グリーンユースマイル基金事業費補助金、耐震改修促進事業費補助金の増加
⑥ 諸 収 入	7 億 4,316 万円	(+85.1%)	新幹線開業 PR 推進ファンド貸付金償還金の皆増
⑦ 市 債	38 億 6,861 万円	(▲ 3.7%)	統合新病院建設事業出資債の皆減
うち臨時財政対策債	11 億 4,000 万円	(▲15.6%)	

なお、歳出に対し歳入が不足する 5 億 6,000 万円については、財政調整基金の取り崩しにより対応する。
(H27 当初予算 5 億 5,000 万円)

	(予算額)	(前年比)	(主な増減理由)
主な歳出 ① 人件費	45億 5,511万円	(▲ 5.6%)	職員退職手当の減少、国勢調査員報酬の皆減
② 扶助費	68億 3,359万円	(▲ 0.3%)	医療扶助費の減少
③ 公債費	45億 8,412万円	(+11.7%)	借換債の増加、新幹線開業PR推進ファンド借入金償還費の皆増 (借換債を除く場合 ▲2.9%)
④ 物件費	44億 6,818万円	(+ 6.1%)	社会保障・税番号制度に係るシステム改修費、地域交通対策費の増加
⑤ 補助費	17億 5,289万円	(+18.7%)	建築物耐震改修促進事業費の増加
⑥ 投資及び出資金	2億 8,376万円	(▲80.5%)	統合新病院建設事業出資金の皆減
⑦ 貸付金	6億 6,490万円	(+216.8%)	ほっと石川観光プラン推進ファンド貸付金の皆増
⑧ 繰出金	44億 9,900万円	(+ 4.2%)	国民健康保険特別会計繰出金の増加
⑨ 投資的経費	28億 5,252万円	(+28.0%)	山中温泉ぬくもり診療所整備事業費、市立保育園施設整備費(動橋・作見)の増加

3 特別会計予算(7会計) 209億 6,890万円 (前年比 +2億 160万円 +1.0%)

(1) 国民健康保険特別会計 98億 7,150万円 (前年比 +6,990万円 +0.7%)

療養給付費(一般)の増加を見込む。(一人当たり給付費 前年比 1.05倍の伸びを見込む)

(2) 後期高齢者医療特別会計 8億 2,780万円 (前年比 +1,020万円 +1.2%)

制度改正による保険料軽減対象者の増加により、広域連合への納付金の増加を見込む。

(3) 介護保険特別会計 70億 2,740万円 (前年比 +1億 2,320万円 +1.8%)

制度改正に伴い、地域支援事業として介護予防・日常生活支援総合事業を本格的に実施する。

(4) 下水道事業特別会計 29億2,690万円 (前年比 +1,650万円 +0.6%)

片山津処理区(打越町・高塚町)及び大聖寺川処理区(山代温泉10区・山中温泉旭町など)の管渠築造事業を推進する。また、三木地区の農業集落排水事業を推進する。

(5) 加賀山代温泉財産区特別会計 1億2,800万円 (前年比 ▲700万円 ▲5.2%)

「総湯」・「古総湯」の利用促進を図りながら、管理運営事業を引き続き行う。

(6) 加賀山中温泉財産区特別会計 1億6,560万円 (前年比 ▲280万円 ▲1.7%)

源泉の配湯事業を行うとともに「菊の湯」の利用促進を図りながら、管理運営事業を引き続き行う。

(7) 土地区画整理事業特別会計 2,170万円 (前年比 ▲840万円 ▲27.9%)

市債の元利償還費の減少に伴い、予算額が減少する。引き続き保留地の売却促進を図る。

4 企業会計予算(2会計) 123億2,160万円 (前年比 ▲58億4,160万円 ▲32.2%)

(1) 病院事業会計 82億9,350万円 (前年比 ▲57億6,970万円 ▲41.0%)

統合新病院建設事業の完了により建設費が皆減となる。加賀市医療センターの開院に伴う医業収益等を本格的に計上する。

(2) 水道事業会計 40億2,810万円 (前年比 ▲7,190万円 ▲1.8%)

老朽管更新及び配水管施設の整備を推進するとともに、山中浄水場における水質向上のため活性炭注入装置の整備を行う。